

決算特別委員会 (10/4 ~ 10/21) の主な質疑

市民連合

行政情報の広報にSNSの活用を

広島市公式LINEでの情報発信は有効である。登録拡大を進めては。

本市公式LINEのさらなる周知および配信情報や機能の充実、両面からの取り組みを進め、登録者数増加につなげていく。



広島市公式LINEプロフィール

ものづくり産業の支援・強化

工業技術センターとして、今後何に力を入れていく方針なのか。

地域の自動車関連事業者の電動化等への取り組みを支援するため、基礎知識の習得、新製品開発等に寄与する取り組みを行う。

スクールカウンセラー活用事業

児童生徒が自ら相談する力を育てるために、学校ではどのように取り組んでいるのか。

令和3年度から、指定校等でスクールカウンセラーと連携した「SOSの出し方に関する教育」を実施している。



市街地再開発の財源確保

着実に事業を進めるためには、財源確保が大事ではないか。

再開発の事業費については、今後も、国などの補助金獲得にも注力しながら、しっかりと対応していく。

市施設の稼働率を統一すること

稼働率算出方法を統一し、入力作業をデジタル化すべきだと思いがどうか。

市施設の利用実態のより詳細な把握と、利用申し込み・報告等も含めたデジタル技術の活用を検討したい。

市街化区域外の下水道完成時期

市街化区域外の公共下水道整備はいつ完了させる予定なのか。

完了時期を示すことは困難だが、次期下水道事業中期経営プランを策定する中で、整備推進につなげていきたい。



日本共産党

生活保護職場は在職期間を長く

生活保護の職場は、資質を養うためにも在職期間を長くすべきだがどうか。

研修の充実や社会福祉職等の経験豊富な職員によるサポートなどを通じて、引き続き職員の育成に取り組む。

トイレの洋式化を進めよ!

中央老人福祉センターの洋式化率は4割にも満たないが、どう考えるのか。

トイレの洋式化を含めた設備の更新等は、利用者の声等も考慮しつつ、緊急性の高いものから順次行うこととしている。

中学3年までを35人学級に

国の財源措置により浮いたお金で35人学級を拡大することは可能か。

35人学級の拡大については、国の動向や本市の生徒数の推移などに留意しながら検討を進めていきたい。

5号線 非公開の増額に待った!

リスク負担の基準であるマシン能力190N/mmを超える岩盤があったのか。

岩盤強度を管理するための区間ごとの平均値は、これまでの掘削において190N/mmを超えた区間はない。

河川の氾濫防止対策を急いで!

河川しゅんせつ等の要望に対し、どのような考えで対応を判断するのか。

本市の現地調査や市民からの情報提供等に加え、浸水被害のリスクも踏まえながら、必要な区間について実施している。



※紙面の都合上、掲載質問数の上限は、各... ※質疑の内容は、各会派からの提出による... ※質疑・答弁の趣旨を簡潔にまとめている

ひろしま清風会

ふるさと納税は8億円の赤字

寄付額は一定だが寄付控除は年々増加傾向。返礼品の金額はどう決めたのか。

返礼品の価格基準は、国の基準(寄付金額の3割内)に沿っている。1万円、3万円、5万円といった分りやすい、寄付しやすい金額のコースを設定している。

障害者差別解消に向けた取り組み

「みんなのお店ひろしま」宣言店は、何店舗あるか。

宣言店は、令和4年9月末で10店舗あり、スロープや筆談用ボードの設置、窓口での代筆等の対応が行われている。不登校等対策の推進

「ふれあい教室」がない区の児童生徒への支援はどのように考えているのか。

現在の4教室では不十分と考えているため、新たな「ふれあい教室」の設置について検討を進めている。

商工会議所ビル運営は赤字

商議所ビルと基町駐車場、等価交換後の賃料の差は大きい、想定内か。

財産交換後は、おのおのが取得した資産を主体性を持って有効活用すること

女性消防吏員の力を活かせ!

家庭と仕事を両立するための支援制度や周囲のサポートなどへの取り組みは。

対象職員に育児支援制度利用プランの提出を徹底し、子育てに理解のある職場の風土づくりと意識改革に取り組んでいる。



市政改革クラブ

商議所ビルと基町駐車場の交換

再開発事業を行うに当たり、なぜ、先に財産交換する方法を選んだのか。

再開発事業を通じた都市機能の充実強化と、原爆ドームの背景の景観改善という課題を関係者の合意の下、確実に解決するためである。

本場に美しくなるのか?

商工会議所ビルを解体後、原爆ドーム周辺の景観はどうなるのか。

商工会議所ビルの背後の建物の一部が見えるとの予測で、平和公園内の植栽による遮蔽効果と合わせ、移転に向けて取り組む。

無党派クラブ

再開発事業における財産交換

事業後ではなく事業前に財産交換をしなければならぬ理由は。

再開発事業を通じた都市機能の充実強化と、原爆ドームの背景の景観改善という課題を確実に解決するためである。

分科会 (10/14)



用語解説 本文中に赤表記した用語を解説しています

1 平和ノート(ひろしま平和ノート)

平成25年度から、広島市立学校の児童生徒約10万人に無償配布されている広島市立学校平和教育プログラムの中心的教材のこと。児童生徒の発達段階に即して、プログラムごとに小学校1・2・3年生用、小学校4・5・6年生用、中学校用、高等学校用の4冊で構成されている。学習の学びや思いについて記述できる欄もあり、児童生徒が自分自身の学びを振り返ることができるようになっている。

2 青少年国際平和未来会議

本市を中心に世界の青少年による核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた平和活動を展開するために被爆60周年に当たる平成17年に創設された国際会議のこと。世界の青少年が平和について意見を交換し合い、友情と相互理解を深めるとともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を広く世界に伝え、次代を担う青少年の平和への意識を高めることを目指している。

3 スクールソーシャルワーカー

児童・生徒が学校や日常生活で直面する苦しみや悩みについて、児童・生徒の社会環境を構成する家族や友人、学校、地域に働き掛け、福祉的なアプローチによって解決を支援する社会福祉士や精神保健福祉士などの専門家のこと。

4 スクールカウンセラー

児童生徒や保護者の抱える悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能の充実を図るために学校に配置される臨床心理士などの専門家のこと。

5 N/mm<sup>2</sup>(ニュートン/平方ミリメートル)

1平方ミリメートル当たりの強度を表す単位のこと。1ニュートンはおよそ100gの物体に働く重力の大きさである。

6 「みんなのお店ひろしま」宣言店

障害を理由とする差別をなくし、誰もが安心してサービスを利用できるよう、「入店・サービス拒否をしません」、「合理的配慮の提供に努めます」、「心のバリアフリーを大切にします」の三つの心構えを大切に、それらを実践するための取り組みを行っていることを宣言する事業者のこと。本市は、「みんなのお店ひろしま」宣言店を公表し、応援することで、障害者差別の解消に向けた取り組みのさらなる広がりを目指している。



7 ふれあい教室

登校したくても登校できない状態にある児童生徒の社会的自立や学校復帰を図ることを目的として、市内4カ所に設置されている不登校児童生徒適応指導教室のこと。